

平成 30 年度「彩の会」春の例会報告

今年の桜の満開も終わろうとする4月2日(月)、写真の会「彩の会」の撮影会を兼ねた春の例会が、7名の会員の参加者を得て愛知県豊田市の猿投・足助地区を会場として開催されました。計画では猿投山山麓の桃の里と、足助香嵐溪のカタクリの花の撮影を予定していましたが、暖かな日が続き、足助のカタクリの花はすでに最盛期を過ぎているのではないかという情報が入っています。

午前9時に名古屋の金山に集合し、会員の運転するレンタカーで猿投グリーンロードを走り、桃の里へ行く途中で勘八峡平戸橋上流の豊田市民芸館がある公園に立ち寄りました。園内の満開の枝垂れ桜や花桃を撮影した後、猿投山山麓の桃の里へと向かいました。高台に設けられた展望台から見下ろすとあたりの畑は一面ピンク色の絨毯が敷き詰められたようです。春霞に煙る猿投山をバックに桃畑の素晴らしい景色が広がっていました。どこを切り撮っても写真になりそうです。

その後近くの猿投温泉に行き、温泉に浸かった後昼食を兼ねて例会を開催しました。今回から新しく藪田さんにも幹事をお引き受け頂き、都築さんとお二人にお世話を頂くことになりました。

午後2時前、足助まで足を延ばし、飯盛山山腹に咲くカタクリを見に行きました。予想した通り今年はずすでに満開の時期を過ぎており、咲き残りの花がチラホラとみられる程度で残念でした。花のちょうどいい時期に出合うのは本当に難しいものです。

撮影後、午後3時半、秋の再開を約束して帰途に着きました。

【参加者】高澤茂樹、小木曾稔、佐藤壽洲、富田主計、鈴木慎吾、藪田敏行、都築春彦（敬称略）

（鈴木 記）



（猿投温泉にて）



(例会風景)



(豊田市民芸館の公園に咲く枝垂れ桜と花桃)



(猿投地区の桃の里)



(香嵐溪にて)